

## 第83回町田市環境審議会 議事要旨

【日時】2022年1月11日（火）18:00-19:05

【場所】Web会議

【出席者】

委員：堂前委員（会長）、鳴海委員（職務代理）、根本委員、佐藤委員、仁部委員、野村委員、宮下委員、大谷委員、木村委員、瀬田委員、渡邊委員

事務局：環境資源部 野田、環境政策課 宮坂、池澤、土志田、井上、香山、西、藤森、環境・自然共生課 藤原、大西、野地

傍聴：3名

【欠席者】

委員：藤倉委員

【資料】

資料 1：第3次町田市環境マスタープラン（答申案）

資料 2：今後のスケジュールについて

参考資料 1：第10期町田市環境審議会委員名簿

【開会】

- 堂前会長から、出席者の確認を行った。

【議題】

答申案について

- 事務局から、資料1に基づいて説明を行った。

委員意見 特になし

堂前会長：当審議会として、この答申案を承認し、町田市長へ答申を行いたいと思いますがよろしいか。

委員一同：よろしい。

堂前会長：それでは、事務局と調整して、私の方で答申を行う。

【その他】

(1) コラム及び付属資料について

- 事務局から、資料1に基づいて説明を行った。

鳴海委員：資料1、P32の望ましい環境像の絵について、町田市バイオマスセンターや水素ステーションなどの名称を文字として入れた方が分かりやすいのではないか。

事務局：一目でわかるよう工夫をする。

木村委員：資料1、P40の省エネ住宅のコラムについて、「住まいの熱を快適にコントロールし」という言葉があるが、「温熱環境を」という形に修正した方がいいかと思う。また、「自然の力をうまく利用して」ということも入れた方が、設備や材料にだけに頼るという形ではないことが伝わっていいかと思う。さらに、添付画像が一部伝わりづらいので修正した方がいいかと思う。詳細は事務局に別途お知らせする。

事務局：今いただいた意見は文章に上手に組み込んで修正したい。図についても、よりわかりやすくする。

根本委員：資料1、P109の「資源化量合計」について、「資源」とは何を指しているのかが重要になってくる。今回サーマルリカバリーは入っていないと聞いているので、「サーマルリカバリーは除く」などと追記してほしい。温室効果ガスの推計方法を掲載していただいた点を評価する。

事務局：誤解がないように記載をしたいと考えている。

鳴海委員：P40の省エネ住宅についてのコラムに、ZEHについて記載したら良いのではないか。

事務局：コラム、用語解説にも掲載する。

## (2) 今後のスケジュールについて

- 事務局から、資料2に基づいて説明を行った。

仁部委員：多くの自治体がゼロカーボン宣言を表明しているが、施策や事業が伴っていないという自治体も多い。町田市がゼロカーボン宣言を表明する際には、是非とも施策や事業が伴った宣言をしてもらいたい。

事務局：ゼロカーボン宣言の検討と合わせて、ゼロカーボンに資するような事業も関連部署と連携して検討中である。

木村委員：第3次町田市環境マスタープランに直接つながる話ではないが、大災害発生後の環境像や施策の方向性については検討しているのか。

事務局：環境マスタープランは環境政策の方向性について記載したものである。災害時の対応計画としては地域防災計画を策定しているほか、道路管理者と災害廃棄物の仮置場候補地の選定や運用方法の検討も行っている。また、BCPを基に様々なシミュレーション、訓練等を行っている。

渡邊委員：第3次町田市環境マスタープランを多くの市民に見てもらいたいと考えている。これまでの計画はどのように配布しており、どれくらいの市民の手に渡っているのか。今回の計画はどのように普及啓発していくのか。

事務局：ペーパーレス化の視点からも、今回は冊子としての配布は考えていない。概要版や動画を作成し、さまざまな場面で活用することで、より多くの市民の方に見て

もらえるようにすることを考えている。また、お子さんに特化して見ていただくような計画の普及啓発の形も考えている。SNSや町田市ホームページを利用して、計画本編についても、見ていただけるようにしていきたいと思っている。

#### 【閉会】

- 各委員から挨拶。
- 堂前会長から、閉会の挨拶。

#### 【補足事項】

- 第83回町田市審議会の中で、事務局から、ゼロカーボンシティ宣言を行う方向で調整していることを説明した。また、もし「第3次町田市環境マスタープラン」の策定・公表前に宣言を行った場合は、資料1、p.36の「将来的な脱炭素に向けて」の「将来的」の部分を「2050年」に変更する旨を説明した。
- 策定・公表前の1月24日（月）にゼロカーボンシティ宣言を行ったことに伴い、資料1、p.36の「将来的な脱炭素に向けて」の「将来的」の部分を「2050年」に変更を行う。

以上